

能登半島復興支援に向けたディレクトフォース北陸ブロックへの提言： 現状分析と革新的貢献策

1. はじめに：能登半島復興における革新的支援の必要性

ディレクトフォースは、現役を引退した経験豊富な役員を中心とした、社会貢献への強い志を持つ団体であり、その中でも北陸ブロックは、石川県・富山県・福井県にルーツを持つメンバーが中心となり、地域活性化に取り組んでいます。昨年正月の能登半島地震から1年4ヶ月が経過しようとしている現在、復興は依然として困難な状況にあります。北陸ブロックの皆様が、この現状を深く憂慮し、従来の枠にとらわれない具体的な支援策を模索されていることは、地域再生に長年携わってきた専門家として強く共感するところです。

能登地方の産物購入や理科実験教室の実施といった従来の支援策は、一定の効果が期待できるものの、より深刻で複雑な復興の課題に対応するためには、新たな視点と発想が求められています。ディレクトフォースの皆様が長年培ってきた知見、経験、人脈は、まさにそうした革新的な支援を生み出すための貴重な資源となるでしょう。本報告書では、現在の能登半島の復興状況を詳細に分析し、ディレクトフォース北陸ブロックの皆様が、その強みを最大限に活かし、より深いレベルで地域に貢献できるような、具体的な提言を行うことを目的とします。ユーザーが「ありきたりのアイデアしか生まれてきません」と述べていることから、既存の枠を超えた、独自性のある提案が求められていることが明確に示されています。また、「残りの人生を社会貢献に費やしていこうという団体です」という言葉からは、メンバーの皆様の強い意欲が感じられ、持続可能でインパクトのある貢献策が、その意欲に応えるものとなると考えられます。

2. 能登半島の復興現状と残された課題

2.1 インフラ復旧の進捗

能登半島地震発生後、インフラの復旧は着実に進んでいます。交通網においては、JR七尾線とのと鉄道が運転を再開し、輪島市や珠洲市へは特急バスの運行も開始されました。能登空港も民間航空機の離着陸が再開され、交通の便は徐々に回復傾向にあります。しかし、電気やガスといったライフラインは概ね復旧したものの、水道については依然として一部地域で断水が続いており、生活再建の大きな妨げとなっています。特に、地域によっては、地震直後の大規模な停電と断水が発生したことが示されており、地震発生から数ヶ月後も断水が解消されていない地域があることが指摘されています。この状況は、復旧が進む交通インフラとは対照的に、依然として水インフラの脆弱性が残っていることを示唆しており、工学やインフラ管理の経験を持つディレクトフォースのメンバーによる支援の必要性を示唆しています。

2.2 各分野における残された重要なニーズ

- **2.2.1 住宅:** 応急仮設住宅の建設は完了したものの、恒久的な住宅再建はこれから本格化を迎えます。一部で住宅の修理も開始されていますが、全壊・半壊した家屋は依然として多数存在し、その解体・撤去も大きな課題となっています。甚大な住宅被害の規模も具体的な棟数で示されており、損壊家屋の解体と撤去の複雑さを指摘しています。この現状は、都市計画、建設管理、そして住宅再建に関わる行政手続きの経験を持つディレクトフォースのメンバーにとって、専門知識を活かせる重要な領域であることを示唆しています。
- **2.2.2 保健・医療・福祉:** DMAT（災害派遣医療チーム）などの医療支援チームによる活動は行われていますが、高齢者、障がい者、子どもをはじめとする脆弱な立場の人々への継続的な支援が必要です。特に、高齢化率の高い珠洲市における高齢者の特有のニーズを強調し、見過ごされがちな障がい者のニーズを指摘しています。また、子どもと家族が直面する困難な状況を詳細に示しています。また、地震やその後の生活環境の激変による精神的な影響も深刻であり、被災者の心のケアが不可欠です。この事は、心のケアの重要性を明示しており、住民の精神的な負担の大きさを伝えています。これらの情報は、医療、福祉、コミュニティ支援の経験を持つディレクトフォースのメンバーが、重要な役割を果たせることを示唆しています。
- **2.2.3 経済復興:** 政府による事業者や産業への支援策は実施されていますが、基幹産業である漁業、観光業、農業は壊滅的な打撃を受けており、早急な復興が求められています。漁港や漁業設備への甚大な被害、観光業が直面する課題と支援策、農地の被害と農家への支援の必要性を示しています。これらの状況は、経営、産業界との連携、地域経済開発の経験を持つディレクトフォースのメンバーにとって、その知見を活かすべき重要な分野であることを示しています。

2.3 その後の豪雨による影響

9月には記録的な豪雨が能登半島を襲い、洪水や土砂崩れが発生し、復興の取り組みに更なる困難をもたらしました。この豪雨により、再び住民が避難を余儀なくされる事態も発生しています。地震に加えて豪雨という二重の災害は、地域の脆弱性を露呈させ、復興にはより柔軟で適応力の高い支援戦略が必要であることを示唆しています。

3. ディレクトフォース北陸ブロックの強みを活かす

ディレクトフォースの会員は、企業の役員経験者をはじめ、研究者、アナリスト、弁護士、医師など、多様な専門分野で長年の経験を持つ人材で構成されています。特に北陸ブロックのメンバーは、石川県、富山県、福井県という地域

への深い繋がりを持っています。また、教育支援や企業支援といった社会貢献活動の実績も豊富です。組織内には、地域デザインに関するグループや委員会も存在しており、地域活性化への関心と取り組みが既に根付いています。このように、多様な専門性と地域への強い繋がり、そして社会貢献への熱意を兼ね備えたディレクトフォース北陸ブロックは、画一的な支援策では対応できないより専門的で地域に根差した支援を提供できる立場にあると言えます。

4. ディレクトフォース北陸ブロックへの10の提言

- **提言1：経営経験を活かした「能登復興メンターシップネットワーク」の設立**
 - **詳細：**被災した能登地域の小規模事業者や起業家に対し、ディレクトフォースの経験豊富な経営者がメンターとして、事業継続計画、財務管理、サプライチェーン再構築、震災後の市場への適応などについて指導・支援を行います。
 - **関連性：**は、ディレクトフォースが企業支援に注力していること、そして会員の豊富な経験を示しています。は、地域事業者が深刻な経済的影響を受けていることを示しています。
 - **考察：**多くの事業者が経営上の課題に直面している一方で、ディレクトフォースには豊富な経営経験を持つ人材が存在しており、この人的資源を活用したメンターシップは、単なる資金援助を超えた、事業の持続可能性を高めるための戦略的な支援となります。
- **提言2：「デジタル能登リソースハブ」の構築によるニーズと解決策のマッチング**
 - **詳細：**能登地域で利用可能な支援策、リソース、ボランティア機会、地元事業者の情報を集約したオンラインプラットフォームを開発します。
 - **機能：**信頼できる地元事業者のディレクトリ、復興関連イベントカレンダー、住民同士が繋がり情報を共有できるフォーラムなどを設けます。
 - **関連性：**は、政府による情報提供の取り組みを示していますが、地域主導のハブは、より地域に特化しアクセスしやすい情報源となる可能性があります。は、災害時の通信課題を示しており、強固な情報共有の必要性を強調しています。
 - **考察：**災害発生時の通信の混乱と、支援情報へのアクセスニーズを考慮すると、ディレクトフォースの組織力を活かしたデジタルプラットフォームの構築は、地域住民にとって不可欠なリソースとなるでしょう。
- **提言3：「北陸産業交流フォーラム」の開催による地域経済連携の促進**

- **詳細:** 石川県、富山県、福井県の企業や業界リーダーと能登地域の事業者を結びつけ、協力機会、サプライチェーン連携、市場アクセスなどを探るための交流イベントを開催します。
- **重点分野:** 観光、農業、漁業などの主要産業に焦点を当て、能登の経済復興を支援する連携を促進します。
- **関連性:** は、北陸地域全体への広範な経済的影響を示しています。は、政府による事業者への支援策を示しており、これらのフォーラムは、それらを補完するものとなります。
- **考察:** 北陸地域全体への経済的影響を考慮すると、ディレクトフォースの広範なビジネスネットワークを活用した産業交流フォーラムは、能登の経済復興を加速させるための有効な手段となります。
- **提言 4: 高齢者・障がい者向けの専門的な「防災レジリエンスワークショップ」の実施**
 - **詳細:** 能登地域の高齢者や障がい者が直面する特有のニーズや課題に合わせた、防災準備、緊急時対応、支援サービスへのアクセスに焦点を当てたワークショップを企画・実施します。
 - **内容:** 家庭の安全対策、緊急連絡手段、支援制度の利用方法など、実践的なアドバイスを提供します。
 - **関連性:** は、これらの脆弱な立場の人々の特有のニーズを強調しています。は、ディレクトフォースのメンバーがシニア向けのワークショップを実施した経験があることを示しています。
 - **考察:** 高齢者や障がい者の脆弱性を考慮すると、教育やコミュニティ活動の経験を持つディレクトフォースのメンバーが、これらの人々の防災力を高めるための専門的なワークショップを提供することは非常に有益です。
- **提言 5: 子どもたちの教育・課外活動を支援する「能登子どもエンリッチメント基金」の設立**
 - **詳細:** 地震によって教育機会や課外活動が中断された能登の子どもたちのために、学用品、学習支援、習い事への参加費用などを援助する基金を設立します。
 - **関連性:** は、子どもたちの教育やウェルビーイングへの影響を強調しています。これは、ディレクトフォースが長年にわたり教育支援に取り組んできたことを示しています。
 - **考察:** 子どもたちの教育や課外活動への悪影響を考慮すると、ディレクトフォースの教育支援の経験を活かし、経済的な支援を提供することは、子どもたちの健全な成長と地域の将来にとって不可欠です。
- **提言 6: 引退した専門家と地元の職人・工芸家を結びつける「スキル伝承ワークショップ」の開催**
 - **詳細:** マーケティング、経営管理、デジタル技術などの専門知識を持つディレクトフォースのメンバーが、能登の伝統工芸や地場

産業の職人・工芸家に対し、事業の近代化や販路拡大を支援するためのワークショップを開催します。

- **関連性:** は、伝統産業への支援の必要性を示しています。ダイレクトフォースの多様なスキルを、は、マーケティングの専門知識の必要性を示しています。
- **考察:** 伝統産業の支援ニーズと、ダイレクトフォースの多様なスキルを組み合わせることで、現代的なビジネス手法に関するワークショップは、地元の職人たちの事業発展に貢献できます。
- **提言7: 地域のメンタルヘルス・コミュニティウェルビーイング支援団体との連携**
 - **詳細:** 能登地域で活動する既存のメンタルヘルス支援団体やコミュニティグループと協力し、ボランティア支援、ピアサポートグループの運営支援、地域住民の心の癒しと社会的な繋がりを促進するためのイベント企画などを実施します。
 - **関連性:** は、メンタルヘルス支援の必要性を強調しています。は、ダイレクトフォースが地域コミュニティ活動に関与していることを示しています。
 - **考察:** 深刻なメンタルヘルスニーズに対応するためには、地域団体との連携が不可欠であり、ダイレクトフォースのメンバーが持つ時間とスキルを活かした支援は、地域社会の回復に貢献します。
- **提言8: 北陸ブロック外のダイレクトフォース会員向けの「能登復興スタディツアー」の企画**
 - **詳細:** 北陸ブロック以外の地域のダイレクトフォース会員を対象に、能登の復興状況や地域ニーズを直接体験するスタディツアーを企画・実施します。
 - **目的:** より広範なダイレクトフォースネットワーク内での意識向上を図り、追加のリソースや支援を動員する可能性を高めます。
 - **関連性:** は、ダイレクトフォースが観光関連の旅行を企画した経験があることを示しています。ユーザーの問い合わせは、東京のメンバーの関与を示唆しています。
 - **考察:** 東京のメンバーの関与意向と、ダイレクトフォースの旅行企画の経験を活かしたスタディツアーは、組織全体の意識を高め、さらなる支援を引き出す効果的な手段となります。
- **提言9: ビジネス・マーケティングの専門知識を活かした漁業復興支援**
 - **詳細:** 能登の漁業協同組合や個々の漁業者に対し、市場の多様化、付加価値の高い加工、持続可能な漁業慣行、新たな流通チャネルへのアクセスなど、ビジネスとマーケティングの側面からプロボノのコンサルティングサービスを提供します。
 - **関連性:** は、漁業への深刻な被害と復興の取り組みを強調しています。は、ダイレクトフォースのビジネス支援能力を示しています。

- **考察:** 壊滅的な被害を受けた漁業に対し、ディレクトフォースのビジネスとマーケティングの専門知識を活用したコンサルティングは、漁業の再生と持続可能性の確保に貢献します。
- **提言 10: 大学・研究機関との連携による能登のレジリエントなコミュニティ構築と持続可能な復興に関する研究支援**
 - **詳細:** ディレクトフォースの研究経験を持つメンバーが、大学や研究機関と協力し、能登の復興プロセスを分析し、ベストプラクティスを特定し、災害に強いコミュニティ構築のためのモデルを開発する研究プロジェクトを支援します。
 - **関連性:** は、ディレクトフォースが研究・教育機関との繋がりがあることを示しています。は、長期的な再建の課題を強調しています。
 - **考察:** ディレクトフォースの研究経験と、復興の長期的な課題を考慮すると、大学との連携による研究支援は、エビデンスに基づいた復興戦略の策定と、将来の災害に強い地域づくりに貢献します。

表 1: 提言概要と主な実施ステップ

提言タイトル	概要	主な実施ステップ	活用できるディレクトフォースの専門性
能登復興メンターシップネットワークの設立	被災した能登の小規模事業者・起業家への経営指導・支援	メンター候補の募集、被災事業者とのマッチング、メンタリングプログラムの設計・実施、進捗状況のモニタリング	経営、財務、サプライチェーン、市場戦略
デジタル能登リソースハブの構築	支援情報、地元事業者情報などを集約したオンラインプラットフォームの開発	プラットフォームの企画・設計、コンテンツの収集・整理、ウェブサイト開発、運用・保守体制の構築	IT、ウェブ開発、情報管理、広報
北陸産業交流フォーラムの開催	北陸地域の企業と能登の事業者を結びつける交流イベントの企画・運営	参加企業・団体の募集、フォーラムの企画・運営、マッチング機会の創出、フォローアップ	経営、業界ネットワーク、イベント企画・運営
高齢者・障がい者向け防災レジリエンス	高齢者・障がい者向けの防災・緊急時対応	ニーズ調査、ワークショップ内容の設計、講師の選定、開催告知・参加者	福祉、医療、教育、

ワークショップ	応ワークショップの企画・実施	募集、ワークショップの実施、効果測定	コミュニティ支援
能登子どもエンリッチメント基金の設立	能登の子どもたちの教育・課外活動を経済的に支援する基金の設立・運営	基金設立の準備、寄付募集活動、支援対象・基準の設定、申請受付・審査、資金交付、効果測定	財務、基金運営、教育支援
スキル伝承ワークショップの開催	引退した専門家が能登の職人・工芸家にビジネススキルを伝授するワークショップ	ワークショップ内容の設計、講師の選定、参加者募集、ワークショップの実施、成果発表の機会提供	マーケティング、経営管理、デジタル技術
メンタルヘルス・コミュニティウェルビーイング支援	地域の支援団体と連携し、心のケアと社会的な繋がりを促進する活動を支援	連携先団体の特定・協議、ボランティア派遣、イベント企画・運営支援、ピアサポートグループ運営支援	福祉、心理学、コミュニティ支援
能登復興スタディツアーの企画	北陸ブロック外のダイレクトフォース会員向けの能登復興視察ツアーの企画・実施	ツアーの企画・手配、参加者募集、現地視察の実施、情報共有	旅行・観光、広報、組織運営
漁業復興支援コンサルティング	能登の漁業協同組合・漁業者へのビジネス・マーケティングに関するプロボノコンサルティング	ニーズ調査、コンサルティング内容の設計、専門家チームの組成、コンサルティングの実施、成果測定	経営、マーケティング、水産業
レジリエントなコミュニティ構築研究支援	大学・研究機関との連携による能登の復興に関する研究プロジェクトへの協力	研究テーマの選定、研究機関との連携、研究資金の支援、研究成果の普及	研究、学術、地域開発

5. 結論：協働による能登の再生に向けて

ダイレクトフォース北陸ブロックの皆様は、その豊富な経験、地域への深い繋がり、そして社会貢献への強い思いを通じて、能登半島の復興にかけがえのない貢献を果たすことができると確信しています。本報告書で提案した10の提言は、既存の支援策を補完し、より専門的で持続可能な復興支援の道筋を示すものです。能登半島の復興は長期にわたる取り組みであり、その道のりは決して平坦ではありません。しかし、ダイレクトフォース北陸ブロックの皆様の積

極的な関与と、地域社会との連携を通じて、必ずや能登は再び活力を取り戻し、より強靱な地域として再生することができるでしょう。